

## 主な論点項目（案）

### 1. 目的

1. 1 適正な会計監査の確保
1. 2 監査人による適正な職業的懐疑心の発揮、高い職業倫理・独立性の保持による会計監査の品質・信頼性の確保
1. 3 開放的な文化の保持
1. 4 リーダーシップの発揮(トップの姿勢)
1. 5 行動規範の策定
1. 6 非監査業務との関係

### 2. 執行及びガバナンス機関

2. 1 実効的な執行機関の確立
2. 2 執行機関に求められる役割
2. 3 執行機関に求められる経験
2. 4 経営責任者を含む各執行機関・ガバナンス機関の権限、責任等の明確化
2. 5 監査法人と個々のパートナーの意思決定の関係
2. 6 監査法人の運営に対する外部の第三者の関与
2. 7 外部の第三者メンバーに対する適切な情報提供、サポート

### 3. 業務運営

- 3. 1 適正な会計監査を実施するための人材育成等の方針
- 3. 2 ステークホルダーとの対話
- 3. 3 外部によるレビューにおける指摘への対応
- 3. 4 法令遵守、監査業務の実施等
- 3. 5 通報制度
- 3. 6 IT等の活用

### 4. 説明責任

- 4. 1 監査法人の業務・マネジメントに関する情報の開示
- 4. 2 各コードの遵守状況の開示
- 4. 3 監査法人の開示情報の質を担保するための措置の実施・公表
- 4. 4 経営方針、経営上のリスク等の把握・開示

### 5. その他

その他、コード策定に当たり、留意しておくべき項目